

## 学位論文の調査要旨

専攻名 (又は推薦専攻名)	地域イノベーション学専攻	氏名	西浦 尚夫
学位論文題目	陶磁器産地再生に関する一考察 ―四日市萬古焼産地を事例として―		
調査委員会	委員長	小林 一成	
	委員	藤田 達生	
	委員	朴 恵淑	
調査結果の要旨			
<p>本論文は、産業クラスター論を論考の基礎として、三重県の代表的地場産業である四日市萬古焼産地の代表的製品である土鍋を事例に取り上げ、国内陶磁器産地を再生させる方策に関して考察したものである。</p> <p>特に、①萬古焼産地が「消費者ニーズに対応した陶磁器製品」を市場へ供給できない問題点とは何か、および、②萬古焼産地の強みを活かし「競争力ある陶磁器産地を創り出す」には何をすべきか、の2点を研究課題として研究を行った。萬古焼産地は「土鍋」において国内1位のシェアを持つ産地であることから、土鍋に焦点を当てながら産地の実態を明らかにするとともに、萬古焼土鍋に関する消費者調査とその分析により産地再生の展望について考察した。萬古焼産地の実態調査の結果、近年の産地縮小の原因は、産地間屋の機能低下による消費者ニーズ把握の失敗にあることが明らかになった。さらに、消費者調査の結果に基づき、土鍋に対する潜在ニーズを因子分析したところ、購入時の決め手は「形状」と「価格」であり、形状に関して重要な点は「可愛い」、「丈夫そう」という感情であるとの結果を得た。</p> <p>本研究の結果を総合すると、①萬古焼産地が消費者ニーズに対応した製品を市場へ供給できないのは、産地の強みである革新性が発揮できていないこと、②競争力ある萬古焼産地を創り出すには、企業間連携により新市場を開拓すること、であるとの結論を導き出した。以上の成果は、地域経済の活性化に貢献する可能性を秘めており、地域イノベーション学の見地からも極めて重要な成果を上げた研究であると言える。</p> <p>以上の結果を総合し、本調査委員会は、本論文が博士(学術)の学位を授与するにふさわしいものと判断した。</p>			